

令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）  
《基本目標》食べる力をみんなでアップ！ ～みんなでおいしく楽しく食べよう～

資料1

推進団体	ページ数
一般社団法人仙台市医師会	1
一般社団法人仙台歯科医師会	2
公益社団法人宮城県栄養士会	4
仙台市小学校長会	6
仙台市私立幼稚園連合会	7
仙台市保育所連合会	9
仙台市PTA協議会	10
仙台市食生活改善推進員協議会	11
宮城県生活協同組合連合会	13
みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)	18
日本チェーンストア協会東北支部	20
仙台農業協同組合	21
仙台白百合女子大学	22
宮城大学	23
仙台市市民局	24
仙台市子供未来局	25
仙台市環境局	29
仙台市経済局	30
仙台市教育局	33
仙台市健康福祉局・各区保健福祉センター， 総合支所	36

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-6 専門性を活かし、幼児・児童・生徒への食生活指導を行います						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市立学校健診 糖尿病精密検査 生活習慣病検査 貧血検査	小・中学生	・学童を対象とした各健診後、児童・生徒及び保護者に対して、校医、専門医による食の改善、運動等事後指導を実施する。また、円滑に指導等ができるよう関係者と連携を図る。	糖尿病精密検査 6/24～6/28 生活習慣病検査 9/2～9/5 貧血検査 8/26～10/11	糖尿病精密検査実績 30名 生活習慣病検査実績 207名 貧血検査実績 890名	仙台市医師会
具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食物アレルギーへの対応事業	保育士、栄養士、教諭等	・食物アレルギー対応の手引き（改訂版）を活用し、指導・助言を行う。	通年		仙台市医師会
具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	妊婦健診事業	妊婦健診受診者	・妊婦健診の中で貧血や妊婦高血圧症候群、妊娠糖尿病などの異常を早期発見し、妊娠期間中の食事指導などを行う。また、支援が必要な妊婦については行政と連携し積極的に指導する。	通年	妊婦健診実績（～10月） 延べ 52,111名	仙台市医師会
2	産婦健診事業【新規】	産婦健診受診者	・産婦健診の中で貧血や妊婦高血圧症、妊娠糖尿病などの産婦に直後の食事指導などを行う。また、支援が必要な産婦については、行政を連携し積極的に指導する。	通年	産婦健診実績（～10月） 延べ 7,400名	仙台市医師会
3	乳幼児健診事業	乳幼児健診受診者	・乳児健診（2か月、4～5か月、8～9か月）、1歳6か月児、3歳児健診において、乳幼児の健康的な成長を促すための栄養指導を実施する。	通年	乳児健診実績（～10月） 13,463名 1.6、3歳児健診実績 1.6歳→5,702名 3歳 →5,768名	仙台市医師会
取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします						
具体的な取り組み ①-D-3 健康診断受診後の相談・指導を充実させ、食習慣の改善を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	特定健診・特定保健指導事業	一般市民	・特定健診、基礎健診における問診や結果に応じて、生活習慣病等の「疾患に関する判定」「メタボリックシンドロームに関する判定」及び「特定保健指導に関する判定」を行い、保健指導により個々の生活習慣改善の行動目標を設定（身体活動量・食事バランス）し、健康的な生活習慣を身に付けられるよう、引き続き登録医療機関で指導する。また、検査項目の一つ血清尿酸は、動脈硬化・脳卒中・心臓病・腎臓病の危険因子であり、肥満との関連性もあることから、各種疾病の早期発見・早期治療に引き続き努めたい。	令和元年6月～令和2年2月	特定健診実績 53,881名 *市国保 基礎健診実績 36,429名  動機づけ支援実績 395名（見込）	仙台市医師会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民向け冊子の配布	一般市民	・冊子名：スマイル（食の大切さや、より良い食事に関する啓発）	通年	6,000冊配布	仙台歯科医師会
2	歯と口の健康週間市民のつどい	一般市民	・歯科医師会と各関係団体が連携して実施 ・市民公開講座「目指せ！生涯楽しむ 健口生活」 ・健康長寿のための食生活とお口の働きチェック&ケアなど	6月8日（土）	727名	市民のつどい実行委員会（仙台歯科医師会、宮城県栄養士会、健康福祉局、子供未来局、他）
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-6 専門性を活かし、幼児・児童・生徒への食生活指導を行います						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校・幼稚園・保育所での講話	児童・職員	・歯科校医、園医、嘱託医による講話などでの食事指導	通年	例年通り	仙台歯科医師会 子供未来局 教育局
2	支援学校での摂食指導	児童・保護者・職員	・鶴谷特別支援学校、県立視覚支援学校への摂食指導研修会への講師派遣	5月23日 7月4日 12月12日	前年同様、教職員・保護者への講話を実施	仙台歯科医師会 教育局
3	仙台市PTAフェスティバルへの参加	児童・保護者	・健康的な食生活について啓発	11月10日	800名（内歯科関係来場者100名）	仙台歯科医師会 東北大学 健康福祉局
4	3歳児カリエスフリー85プロジェクト	乳幼児	乳幼児期からの正しい食習慣の確立への啓発	通年	各登録医療機関には、人数の報告を求めている為、不明	仙台歯科医師会 健康福祉局 子供未来局
取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます						
具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	口腔機能低下症に関する学術講演	歯科医師及び関連職種	・オーラルフレイルに対応する「口腔機能低下症」に対する学術講演	未定		仙台歯科医師会

取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります						
具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい 《①-A-1 再掲》	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師会と各関係団体が連携して実施</li> <li>・市民公開講座「目指せ！生涯楽しむ 健口生活」</li> <li>・健康長寿のための食生活とお口の働きチェック&amp;ケアなど</li> </ul>	6月8日（土）		市民のつどい実行委員会（仙台歯科医師会、宮城県栄養士会、健康福祉局、子供未来局、他）
取り組みの方向性 ①-G 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます						
具体的な取り組み ①-G-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口腔の健康づくり教室	園児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若林区保健福祉センターと若林地区の仙台歯科医師会会員が連携して、「歯と口の健康づくり教室」の実施。</li> </ul>	1回 時期・対象箇所未定	伊達武将隊も参加した	仙台歯科医師会
2	地域住民への啓発活動	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各区民まつり等での食に対する啓発</li> </ul>	3~4回		仙台歯科医師会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・市民公開講座「目指せ！生涯楽しむ 健口生活」 ・「早ね・早起き・朝ごはん!!口と健康を守る食生活コーナー」にて、食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会）	6月		市民のつどい実行委員会（仙台歯科医師会、宮城県栄養士会、健康福祉局、子供未来局、他）
取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります						
具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい 《①-A-1 再掲》	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・食に関する講演の実施 ・「早ね・早起き・朝ごはん!!口と健康を守る食生活コーナー」にて、食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会）	6月		市民のつどい実行委員会（仙台歯科医師会、宮城県栄養士会、健康福祉局、子供未来局、他）
2	いい日いい汗栄養まつり	一般市民	・健康づくり関係団体と連携し、最新の健康・栄養情報を食事診断、健康・栄養相談、栄養講話等、実際の体験を通じて普及啓発	8月		宮城県栄養士会
3	健康づくり公開講座	一般市民	・最新の健康・栄養情報を、調理実習も加えて普及・啓発する。 第1回「時間栄養学で食生活を見直しませんか！～1日3食「いつ」食べる？「どう」食べる？～」	10月	参加人数：25名	宮城県栄養士会
4	仙台市介護予防月間	一般市民	元気カアップフェスティバル	11月	参加人数：54名	シルバーセンター 宮城県栄養士会
5	栄養ケア・ステーションにおける栄養指導・講演会等への講師派遣	一般市民	①医療機関での栄養指導 ②特定保健指導 ③市民センター、幼稚園、児童館、福祉協議会、支援センター等の栄養講話や、調理実習	通年		宮城県栄養士会
6	マスコミや執筆による情報提供	一般市民	・栄養相談（げんき倶楽部「杜人」の質問回答など）や、食の情報提供など	通年		宮城県栄養士会
7	宮城県ケアフェスタ	一般市民	宮城県ケアフェスタ	11月	参加人数：21名	宮城県栄養士会 宮城県
8	県民健康づくり公開講座	一般市民	・日常生活におけるナトリウム、カリウムバランス評価についての試み	8月		宮城県栄養士会

【様式1】令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）

（公社）宮城県栄養士会

9	食材王国みやぎ伝え人	児童とその親	・身近な食材を使用した子供でも作れるメニューでの調理実習	①7月 ②11月	①参加人数：14名 ②参加人数：17名	宮城県栄養士会
10	リビングスマートシニアフェスタ2019秋	一般市民	・シニアの生き生きと暮らすためのヒントの情報提供、健康相談	9月		宮城県栄養士会 仙台リビング新聞社
11	子育て応援団すこやか2019	一般市民	・ミヤテレ主催 食育に関する案件 離乳食・幼児食相談、ゲーム、塗り絵など	10月	2日間 参加人数：延べ260名	宮城県栄養士会 ミヤギテレビ
12	みやぎサテライトステーション	一般市民	・健康相談 宮城県依頼により、名取イオンにて月2回開催	通年		宮城県栄養士会
13	被災者支援事業	南三陸集約拠点8団地・復興公営住宅居住者	・被災された南三陸町の方々を対象に、看護協会活動に同道して健康相談	実施回数 31回 スタッフ全体会議10回		宮城県栄養士会
14	福祉に関する研修会	一般市民	・経口移行に関する管理栄養士の役割、要介護高齢施設における嚥下調整食について	1回	参加人数：100名	宮城県栄養士会
15	地域包括ケアシステム協働プロジェクト	一般市民	第5回はればれ健康フェスタ	9月	参加人数：60名	柔道整復師会 宮城県栄養士会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-4 学校での様々な活動において『食に関する指導』を充実させます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「食に関する指導の全体計画」「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の作成及び見直し	小・中学生	・「食に関する指導の手引き」の改訂に伴い、「食に関する指導の全体計画」及び「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の見直しを図り、各教科や特別活動及び学校の教育活動全体を通して食育を展開する。 ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための教育活動を工夫し、実践する。	通年 各学校において適宜指導を振り返り、改訂を踏まえた指導計画の見直しを図る。 教育活動全体での食育推進を目指す。	「食に関する指導の手引き」の改訂による全体計画と各学年の指導計画の改訂作業	小・中学校 教育局
2	給食の時間における食に関する指導の充実	小・中学生	・給食時間をはじめ、食に関連する教科・諸行事等において、学年学級の実態に応じて、各学年学級担任を中心に、栄養教諭・学校栄養職員の参画にて食に関する指導を行う。 ・「食育の日」、「食育月間」の普及・啓発を行う。 ・宮城、仙台産などの地元の農産物や郷土食を活用した給食で、食育を推進する。	通年 指導計画を基に、児童・生徒の実態に応じた食育を推進する。	学級担任と連携し食育指導の実施	小・中学校 教育局
3	「給食週間」	小・中学生	・児童、生徒を中心に内容を工夫して、給食に感謝する催しを開催する。	1月 児童・生徒の主体性を大切に各学校の特色を生かして行う。	各校にて、リクエスト献立、残食を減らすポスターなど	小・中学校 教育局
具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	献立表や給食だよりによる啓発	小・中学生と保護者	・献立表や給食だよりなどを通じた食育活動の周知をする。 ・食物アレルギーへの対応（個別面談等含）について周知し、個別に詳細献立表を家庭に配布する。	個別面談：年度初めに実施 献立表等：月ごとに実施、詳細献立表（アレルギー対応）配布	食物アレルギー対応「5重のチェック」実施	小・中学校 教育局
2	「望ましい食習慣形成」の呼びかけ	小・中学生と保護者	・保護者懇談会や給食試食会、PTA行事などを利用して、望ましい食習慣の形成、食を通じたコミュニケーションの促進を図る。	通年 養護教諭と共に健康教育の一環として実施	各校にて「食を含めた生活習慣の見直しと改善」の取組	小・中学校 仙台市PTA協議会 教育局
具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「食育」の実践研究	教諭・栄養教諭・学校栄養職員	・仙台市小学校教育研究会学校給食部会の取り組みとして、研究主題「食を大切にする心をはぐくみ、健全な心身を培う食育の推進」を掲げ、実践研究を行う。	通年 仙台市を7つの地区に分け、それぞれがテーマを設けて実践する。	・11/13 第2回全体会132名 「健食品表示」に関する講演会実施	小学校 （仙台市小学校教育研究会学校給食部会）
2	学校給食の充実・発展のための研修	栄養教諭・学校栄養職員	・仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会の中の、栄養教諭・学校栄養職員部会において、講演会や調理実習、施設見学などの研修を行い、資質向上をはかる。	通年 年間の研修計画を立て、定期的に研修会を開催する。	・8/1 県研究大会発表「防災と食育（非常食）」（仙台市）174名	小・中学校 （仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会）

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう						
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食試食会と食事のバランスについての講座	園児・未就園児の保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台私立幼稚園連合会の各地区研修部、推進委員会を通して各園の状況に合わせて実施</li> <li>・食に関心を持つ（食材の工夫、栄養のバランス、調理の仕方）</li> </ul>	通年 ①給食試食会 5月から月1回 ②離乳食・幼児食講座 6/3, 8/26, 11/18, 2/17（予定）	①参加希望の保護者に給食に参加してもらい、子どもと一緒に給食を食べ感想を話してもらった。全72名 ②子育て支援で栄養士の講話と試食、食事についての悩み相談、未就園児給食参観。参加者18名の親子	幼稚園 私立幼稚園連合会
具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	おたよりやHPからの情報発信【新規】	園児・未就園児の保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おたよりやHPを通して、野菜の栽培の様子を伝え、食育の取り組みを保護者に広報し、園児たちの活動の様子、声を紹介し、食育への関心を高めることに努めた。</li> </ul>	①園だより7月号 ②学級だより 随時 ③ホームページ3回（7月, 8月, 12月） ④保護者会 3回	全園児の保護者に向けて広報 234名	私立幼稚園連合会
具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食えることが楽しくなる食育	教諭・職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台私立幼稚園連合会の教諭研修会において、1年間実施してきた2園の食育活動を発表する。</li> <li>・それを基に各グループで自園の実績を話し合う。</li> <li>・まとめと講話</li> </ul>	7月29日（月）	「食育の実践に学ぶ」幼稚園教諭160名参加 ①話題提供 2園 ②グループ討議 ③講話 講師：仙台白百合女子大学准教授 高澤まき子氏	幼稚園 私立幼稚園連合会

取り組みの方向性 ①-G 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます						
具体的な取り組み ①-G-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食べる事が楽しくなる食育	園児と保護者	①「みそ汁作り隊」の企画を通して、みそ汁の具材を話し合ったり、だしの取り方が分かり、自分たちもやってみようとする。 ②くりこま高原ファーム加藤氏のもみがらかまどで新米を炊き、出来上がったご飯を自分で握って食べる体験をする。	①月1～2回 全14回 ②10月28日	①4歳児, 5歳児: 57名 ②参加園児 116名 出来上がったご飯で自分でおにぎりを作って食べた。未満児は給食室で握ってもらったものを食べた。	幼稚園 私立幼稚園連合会
		園児	・みんなで作物を栽培・収穫し、食べることを楽しむ。 ・学級ごとに自分たちのクラスの野菜を栽培した。 野菜12種類（じゃがいも、さつまいも、トマト、枝豆、小豆、オクラ、きゅうり、なす、かぶ、かぼちゃ、にんじん、大葉）	5月～12月 11回	参加園児: 234名 ・畑で栽培したじゃがいも、さつまいもはふかして全員で食べた ・クラスの野菜は簡単な調理をして食べた。年長、年中児には調理を見学させた。	
2	偏食を減らすための取り組み	園児	・食材の成り立ち・旬・栄養素についてなど知ることで食事に対して関心が深まるようにする。 ・食べる事が楽しくなる体験を増やすことにより、苦手な物も食べてみようとする。	①5月8日 ②5月9日 ③12月	・タケノコバーベキュー 下茹でしたタケノコを竹串にさし炭火で焼いて食べる ①年長: 25名 ②年中: 32名  ・畑の小松菜でしゃぶしゃぶ 畑で収穫した小松菜をきれいに洗い、鍋でしゃぶしゃぶして食べる。 ③2歳児: 12名	幼稚園 私立幼稚園連合会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう						
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ	保育所入所児家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所の給食試食会を通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。</li> <li>・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し、健康的な食習慣についての情報を発信する。</li> </ul>	通年	各施設において、随時実施している。	保育所 保育所連合会 子供未来局
具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士研究委員会にて、テーマを設けて研究・発表する</li> <li>・保育所連合会栄養士研修で食物アレルギーへの理解を深め、施設での実践につなげる。</li> </ul>	通年 10月16日 1回	参加者数 181名	保育所連合会 子供未来局
2	保育所連合会給食担当者研修会	栄養士・調理員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習や講義の研修を通して、食育や乳幼児期の食事についての理解を深める。</li> </ul>	8月21日、9月4日 2回	参加者数 84名、91名	保育所連合会 子供未来局
3	保育所連合会給食会研究委員会	栄養士	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマを設け、乳幼児の食育に関する研究・発表に取り組む。</li> </ul>	通年	今年度は、献立作成において不足しがちな栄養素（鉄、食物繊維）の摂れるレシピの提案を研究テーマに取り組んでいる。	保育所連合会 子供未来局
推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう						
取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます						
具体的な取り組み ②-A-1 給食や季節ごとの行事を通じて、行事食、郷土食にふれる機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所等給食における食文化の継承	保育所等入所児童と保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の献立に、行事食や郷土料理を提供することを通じて、地域の食事を味わったり、由来を知ったりする。当日のレシピ配付や掲示等で、保護者へも知らせる。</li> </ul>	通年	各施設において、随時実施している。	保育所連合会 子供未来局

<b>推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう</b>						
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	PTA活動などを利用した啓発	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子料理教室等の開催</li> <li>・給食試食会</li> <li>・栄養士さんの講話</li> <li>・ミニ菜園づくり など</li> </ul>	通年		仙台市PTA協議会
<b>推進の柱③ 地産地消をすすめよう</b>						
取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります						
具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域行事での食育	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田植えや収穫などの農業体験活動</li> </ul>	通年		仙台市PTA協議会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	みやぎ地区まつりでの啓発	一般市民	宮城地区まつりに参加して、地産地消の野菜でカルシウムたっぷり（小エビ、スキムミルク）のおこのみ焼きを販売	11月2日（土）	食改員：13名 まつり来場者：延べ28,000人	仙台市食生活改善推進員協議会（宮城）
取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し、若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します						
具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により、若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え、食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	生活習慣病予防のための減塩推進スキルアップ事業	高校生	宮城広瀬高校フードデザイン科3年生を対象に、「学生のための食活ガイド」テキストを使用して進める ・食を通じた健康づくりの実施 ・朝食の必要性和食事バランス ・調理実習	10月23日（水）	食改員：9名 生徒：4校時目 24名 5校時目 34名	仙台市食生活改善推進員連議会（宮城）
取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします						
具体的な取り組み ①-D-2 地域の状況に応じて、生活習慣病予防について学習する機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食生活改善普及事業（肥満予防料理講習会）	幼稚園保護者	・簡単に野菜を多く取り入れた料理を普及し、糖尿病などの生活習慣病予防のための食生活改善を促すための講習会を実施する	未定		仙台市食生活改善推進員協議会（秋保）
2	ヘルスメイトが「TUNAGU」（繋ぐ）パートナーシップ事業（第3弾）	一般市民	・地域と世代をつないで「減塩」と「野菜ワンプレート」の普及をテーマに、料理講習会を実施する。 ・お隣さん、お向かいさんを訪問し、塩分測定器「減塩くん」を使い、みそ汁の塩分チェックと野菜ワンプレートの普及に努める。	随時		仙台市食生活改善推進員協議会（宮城）
3	肥満予防講習会	一般市民	・「適正体重を維持しましょう（自分の適性体重をしりましょう、週1回は体重を測定しましょう）」の内容で講習会を実施	未定		仙台市食生活改善推進員協議会（秋保）
4	食生活改善普及事業（良い食生活をすすめるための料理講習会）	一般市民	（テーマ）①骨とカルシウムについて ②食育について（実習献立） 洋食コース	7月12日開催	15名参加	仙台市食生活改善推進員協議会（秋保）

取り組みの方向性 ①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます						
具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	やさしい在宅介護食教室	食改員	・やさしい在宅の介護食について、食改員が学びます。	6月26日（水）	参加者 11名 簡単な介護食の調理実習と講話（テキストから）「高齢者のからだの変化と食事」	仙台市食生活改善推進員協議会（宮城）
取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします						
具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子の食育教室	児童と親	・食育の5つの力「①料理ができる力②食べ物の味がわかる力③元気なからだができる力④食べ物のいのちを感じる力⑤食べ物を選ぶ力」について、バイキングでお料理をバランス良くプレートで選び主食・主菜・副菜・牛乳・乳製品・果物の選ぶ力を勉強する。	日程未定		仙台市食生活改善推進員協議会（宮城）
具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	生涯骨太クッキング教室	地域の住民	・「生涯骨太」講話と乳製品を使った調理実習メニュー（主食）桜海老の炊き込みごはん（主菜）鮭と大根の和風スープ（副菜）豆腐と野菜のチーズチャンプルー（デザート）パインのアップサイドダウンケーキ	未定	今年度実施なし	仙台市食生活改善推進員協議会（秋保）
<b>推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう</b>						
取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます						
具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	健康のつどいででの普及啓発	一般市民	・地域の各団体との共催事業である「健康のつどい」の会場において、郷土料理や地域の食材を紹介するブースを設置	11月1日（金）	参加者 130名	食生活改善推進協議会（秋保）秋保総合支所
2	はらこ飯料理教室【新規】	食生活改善推進員	地域の食文化を学ぶため、食生活改善推進員を対象に調理実習を取り入れた勉強会を開催。	10月9日（水）	参加者 12名 （食改員の皆様によるごばれました）	仙台市食生活改善推進員協議会（宮城）

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民, 特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	はやね・はやおき・あさごはん運動の推奨	一般市民	未定	未定	6月に店舗セールチラシで朝食の提案を行いました。（「初夏のしっかり朝食フェア」）	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
具体的な取り組み ①-A-3 キャンペーンやコンテストなどにより, 市民の食育活動への参加を促します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	あいごはんアイデア募集	組合員	組合員から寄せられたあいぐらんど商品を使ったアイデアを募集し, ホームページで紹介する。	通年	今年度は新規のレシピ応募はなかった。現在, レシピ243件をホームページに掲載。	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり, 自主的な食育活動につなげます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	タイ産ほうれん草産地視察	大学生	・東北地区の大学生協で組織活動に取り組んでいる学生さんが集まり, 大学生協の食育推進をどうするかを検討。 ・お弁当の日や料理教室などを実施計画。	2019年7月に学習 2020年2月に参加		宮城県生活協同組合連合会（大学生協）
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ, 情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者, 地域の子育て家庭の保護者に, 健康的な食習慣について情報発信をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学習会【新規】	子育て世代の親	・学習会「食べることを好きな子に」 幼児の食育を考える	6月1回	参加者 66名	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し, 若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します						
具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により, 若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え, 食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ミールプラン推進	大学生	・食堂利用定期券「ミールカード」により, 「食費を切り詰めることのない健康的な食生活」を提案する。	利用は年間。 プラン作成, 販促は下期より		宮城県生活協同組合連合会（大学生協）

取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます

具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	サルコペニア・フレイル予防の啓発・情報提供	一般市民	2019年度は予定なし。	予定なし。	なし。（今年度は発酵食品の学習会としたため、サルコペニア・フレイル予防に関してはなし）	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学習会【新規】	一般市民（成人）	・学習会「発酵食品のパワー～その健康機能性について～」	10月1回	参加者190名	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食生活提案の展開	一般市民	みやぎ生協は「食」をだいに健康づくりをすすめます。食生活提案をすすめる4つの基本テーマに沿った「みやぎ生協の食生活提案」を広めます。実践として、「日本型食生活の料理教室」を実施します。	10月～12月に県内5カ所で、たべるたいせつ料理教室「アレンジ自由自在 ハレの日の行事食！」を開催。	10～12月に仙台市、石巻市、白石市、岩沼市、登米市県内5カ所で、たべるたいせつ料理教室「～アレンジ自由自在～ハレの日の行事食！」を開催。107名が参加。（仙台は27名参加）	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食育活動委員会の活動	一般市民	・食育に興味のあるメンバーが登録 ・みやぎ生協の食育活動や他の食育活動を学びながら、「たべる・たいせつセミナー」や「5A DAY食育体験ツアー」の運営を行う	年間10回	メンバー19名が登録。11月末まで8回終了。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子料理教室・大人のお魚教室開催	親子・成人	・食育NPOおむすび、株式会社仙台水産と共催し、「お魚がきっと好きになる料理教室」「大人のお魚教室」を開催。宮城の旬の魚介類を素材に、調理や学習の援助を実施。	お魚がきっと好きになる料理教室3回・大人のお魚教室4回開催	・お魚がきっと好きになる料理教室は2回終了。親子18組39名参加。 ・大人のお魚教室は3回終了。59名参加。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	料理教室の開催		・子供たちの豊かな食生活と健康のために、「あいふらんど商品」をはじめとしたあいコープの食材を活用した試食会、料理教室を開催する。テーマ食材の生産者にも参加していただき、食の現場に学ぶ。	年10回	15回開催し、延べ263名参加。	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

【様式1】令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）

宮城県生活協同組合連合会

3	親子食育スクール 「はじめてのごはん づくり」	子どもとその親	・料理をしたことのない子どもたちを対象とした料理教室。毎日の基本の、ご飯の炊き方、だしをとるみそ汁、卵料理を作り、包丁の使いかたや配膳の仕方などを学びます。	2回	7月に生協文化会館ウィズと幸町店で開催。ウィズは親子12組27名、幸町店は親子8組16名が参加。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
---	-------------------------------	---------	--	----	--	---------------------

具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	5A DAY食育体験ツアー	小学生 幼児（5歳児）	・2005年から実施している「5A DAY食育体験ツアー」は、店舗の集会室を活用して食育の授業を行うもので、今年度も継続開催する ・幼児向け5ADAY「たべるのおはなし教室」も継続開催する。	・6月～12月に仙台市内の小学校10校で開催。 ・6月と8月に仙台市内のこども園、保育園2校で開催。	・仙台市内の小学校11校、生協の店舗で44回開催し、1,186名が参加。 ・6月と8月に仙台市内のこども園、保育園2校で開催し、36名が参加。コープアフタースクール29名参加。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	日本型食生活提案	一般市民	たべるたいせつ料理教室で、日本型食生活についてパワーポイントを使用して学習。	仙台市内では、10月にウィズで開催。	メンバー27名が学習した。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地場商品の普及活動の実施	一般市民	・9月まで毎月15日に「めぐみ野」（産直品）の普及活動の日に設定し、普及活動に取り組みます。9月以降は未定。 ・10月から11月に秋祭りを実施し、普及活動に取り組みます。	9月まで、毎月15日にめぐみ野品（地場商品）の普及活動を実施。以降は未定	普及の活動は、94回427名が参加	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食のかたりべ活動	一般市民	・食に興味のあるメンバーが登録し、「みやぎ生協の食品の安全総合政策」を通してメンバー自身が「食」について学習し、その内容を他のメンバーに伝える活動を行う	4月～10月、食のかたりべ養成講座（4回）に参加。かたりべ活動を行う。	4月～11月、食のかたりべ養成講座（4回）に参加して、メンバーのつどう会場などでかたりべ活動を行った。（現在集約中）	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
3	食育体験ツールの提案	一般市民	・野菜の花から野菜の名前を当てたり、どこを食べるかなどを考えることで食を考えるツールや、みやぎ生協の紙芝居を提案。食育の学習教材として「みやぎの旬」カード、「大地の恵み31・海の恵み38選」を、様々な場面で活用できるよう取り組みを広げる	今までに作成したツールを継続活用する	継続活用しているがツールを配布しているため回数・人数は不明	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	産地見学会	一般市民	・生産現場の見学を行い、生産者の取り組み、生産方法や生産のこだわりを学習する	4月～12月、産地見学会の実施。	生産現場の見学を行い（志津川漁協、JAみどりの、JAみやぎ仙南、JAいしのまき、柳生産直会、和雄と一郎農場、鳴子上原酪農組合等）、生産者の取り組み、生産方法や生産のこだわりを学習する。 産地見学会 2019年度4月～12月で39回開催。参加人数1,577名が参加。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食に関する学習会開催	組合員 一般市民 生産者	・食の現状や農業について生産者や専門家の話を聞き自分たちの食生活をみなおす。	講演会1回 学習会10回	「ゲノム編集食品」「遺伝子組み換え食品」をテーマに講演会2回、延べ189名参加。	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
3	生産者訪問	組合員	・生産者を訪問し、生産現場の様子、工夫などを知り、顔の見える関係を築く。	原木椎茸産地見学（宮城） ながめやま牧場見学（山形） やっべしりんご（ネオニコフリー栽培）見学（山形）	・4/21 原木椎茸産地見学29名 ・9/22 やっべしりんご産地見学32名 ・ながめやま牧場見学74名 ・11/2 田尻あいちゃん牧場見学15名	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
4	地区委員会と地場生産者のタイアップ交流	組合員	・10地区委員会がそれぞれ地場生産者の中からタイアップ先を決め、一年を通して農作業体験を通して交流と学習の活動を行う。 ・秋保の圃場で、小豆の種まきから収穫、種別や加工を生産者と共に作業し種子について学ぶ。	通年	・秋保たまねぎプロジェクト年間登録71名 ・大郷町、若林区七郷、秋保の3産地と農作業体験交流を実施。	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
5	Wa! わぁ祭り【新規】	組合員 生産者 一般市民	・生産者、組合員、職員が一緒になって楽しみながら交流するお祭りの実施。	10月27日に開催。	台風19号による水害のため、開催を中止した。	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	生協と生活者が一緒に稲を育てる	一般市民	・メンバーが家庭で稲を育てる。バケツ稲栽培コンテストを実施し、メンバー自身が自分で稲を育てる体験をする。 ・産地で春に田植え体験、田んぼの生き物調査、秋には稲刈り体験を実施	バケツ稲の配布 5月26日。バケツ稲栽培コンテスト10月13日開催（中止）。田んぼの学校は5月12日、6月16日、10月12日（中止）に開催。	17店舗でバケツ稲を配布し、メンバー自身が自分で稲を育てる取り組みに523家族が参加。めぐみ野たんぼの学校、田植え90名、田んぼの生き物調査92名が参加。（稲刈り体験は台風のため中止）	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	JAみやぎ仙南「めぐみ野」ねぎ収穫体験	メンバー家族	ねぎ圃場でねぎの抜き取りの収穫体験を行いながら生産者と交流	12月1日開催（中止）	ねぎの収穫体験は、台風19号の被害のため中止。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

【様式1】令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）

宮城県生活協同組合連合会

3	農業体験の実施	組合員の親子	・あいコープの交流田は、「えんのう」の皆さんに田植え、草取りをしてもらい、生産者に管理していただく。実りの秋には稲刈りをします。（田んぼに行こう企画） ・年間登録のメンバーによりあいコープの体験圃場でさつまいも、落花生。秋大根の栽培を体験する。（畑に行こう企画） ・はさま自然村の生産者による指導の下、バケツで稲を育てる取り組み。（バケツ稲選手権）	田んぼに行こう～年4回 畑に行こう～年8回 バケツ稲選手権～4回	・田んぼに行こう 4回実施し、延べ169名参加 ・畑に行こう 年間登録60名で、6回実施 ・七郷みつば会と無農薬田の稲作体験企画を6世帯21名の参加で3回実施。	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
4	バケツ稲選手権【新規】	組合員親子	はさま自然村の生産者の指導の下、自宅でバケツ稲に取り組み。夏には産地見学、収穫祭では収穫したコメ粒の量を量ります。	年3回	参加7世帯で、バケツ稲を実施。	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地場の原料を使用した加工品の開発	一般市民	・宮城県産品を利用したの商品開発を継続して行う ・東北地方の震災復興と地域振興を目的に立ち上げた新ブランド「古今東北（ここんとうほく）」は東北6県からえりすぐりの食材、加工品など開発・発売。	商品開発・販売の継続。	「古今東北」の開発。販売商品は12月現在187品目。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱④ 環境を意識した食の取り組みをすすめよう

取り組みの方向性 ④-A 食品ロス削減の取り組みをすすめ、市民の実践につなげます

具体的な取り組み ④-A-2 フードバンクの取り組みをすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	コープフードバンク	一般市民	お取引先の食品企業等から余剰食品の無償提供を受け、社会福祉に寄与する団体・組織等へ無償で提供することを通して、食品の無駄をなくすとともに、だれもが安心して暮らせる地域社会づくりをすすめる。	通年		宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持つ

取り組みの方向性 ⑤-B 食品表示の知識を普及し、食品の選択への活用をすすめます

具体的な取り組み ⑤-B-1 食品表示の知識を広く発信し、活用法を知る機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品表示の知識普及、活用の推進	一般市民（成人）	・学習会「食品表示が変わる～食品添加物はどう表示される？～」 （主催：消費者行政の充実強化をすすめる懇談会みやぎ）	11月1回	参加者 103名	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

<b>推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう</b>						
取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします						
具体的な取り組み ①-D-1 企業・団体・組織等との連携により、働き盛り世代向けに、食習慣改善のための情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「牛乳・チーズ」「里山の作物と農泊」「秋鮭」をテーマに開催した。	2019年4月,6月,11月の3回	延べ50名参加	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります						
具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「牛乳・チーズ」「里山の作物と農泊」「秋鮭」をテーマに開催した。	2019年4月,6月,11月の3回	延べ50名参加	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします						
具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「牛乳・チーズ」「里山の作物と農泊」「秋鮭」をテーマに開催した。	2019年4月,6月,11月の3回	延べ50名参加	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
<b>推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう</b>						
取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます						
具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「牛乳・チーズ」「里山の作物と農泊」「秋鮭」をテーマに開催した。	2019年4月,6月,11月の3回	延べ50名参加	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

推進の柱③ 地産地消をすすめよう						
取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります						
具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「牛乳・チーズ」「里山の作物と農泊」「秋鮭」をテーマに開催した。	2019年4月,6月,11月の3回	延べ50名参加	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
2	オーガニック・ウィーク・センダイ2019	生産者・一般市民・流通加工業者・販売者など	共通のロゴ・のぼり旗を使って、宮城県内で「オーガニック」や「有機」といった言葉を広めるためのキャンペーンを実施。WEBで生産者・販売者マップ、イベントカレンダーなどを作成。情報を集約し、Facebookなどで広報。他団体と提携、「有機」に関して本格的な知識の得られるセミナー、有機農家の直売会などが開催された。仙臺農塾も11/20にあわせて開催した。	2019年11月1日～11月20日	期間中イベント参加者のべ2,000名以上	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持とう						
取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます						
具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「牛乳・チーズ」「里山の作物と農泊」「秋鮭」をテーマに開催。	2019年4月,6月,11月の3回	延べ50名参加	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
2	ネオニコチノイド系農薬の危険性を広める紙芝居の上演	小学校3, 4年生	強い効果で、且つ長期間にわたり影響を与え続けるネオニコチノイド系の危険性を分かりやすく伝える紙芝居を2冊作製した。農薬の特徴や生態系への影響などをイベント等で、ブース展示などと併せ上演する。ネオニコチノイド系農薬の危険性について認知度向上を図る。	2019年9月1日, 28日	延べ100名参加	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
3	田んぼの見学会「新浜の農園と貞山運河を見学しよう!!」～めだか放流とビオトープ生物観察～【新規】	児童から大人まで	仙台市宮城野区岡田地区の農薬不使用の田んぼの現状と、その周辺を見学する市民学習会を開催。安全な食への取り組み、メダカプロジェクトやビオトープなど生態系に関すること、また地域復興についても学ぶ。	6月22日	12名参加	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

<b>推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう</b>						
取り組みの方向性 ①-A 市民，特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	スーパーマーケットの啓発活動	一般市民	・ホームページを活用した食情報の提供 ・情報誌・レシピの提供			日本チェーンストア協会東北支部
取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります						
具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者，スーパーマーケット，飲食店，ホテル，旅館等との連携により，食に関わる場から広く情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	スーパーマーケットの啓発活動《①-A-1再掲》	一般市民	・ホームページを活用した食情報の提供 ・情報誌・レシピの提供			日本チェーンストア協会東北支部
取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします						
具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で，様々な年代が，体験を通して，健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	スーパーマーケットツアー	小学生	・小学生を対象に野菜の大切さを中心とした体験学習の実施	11月 2回		日本チェーンストア協会東北支部
<b>推進の柱③ 地産地消をすすめよう</b>						
取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流，体験の場をつくります						
具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり，広く情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	スーパーマーケットの地産地消の取り組み	一般市民	・県産農産物，加工品を活用した商品開発，販売による地産地消の推進			日本チェーンストア協会東北支部

推進の柱③ 地産地消をすすめよう						
取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります						
具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	JA仙台食農教育プラン あぐり塾の開催	一般市民	○あぐり塾第8期生と題し、募集したところ12名の一般市民が集まった。あぐり塾生は1年を通し、稲の栽培方法について学習する。 ◆稲作；田植え・生き物調査・稲刈り・新米試食会等	5月 田植え 7月 田んぼの除草作業・生育観察 9月 稲刈り 10月 新米試食	12名が計4回の講習に参加し、水稻の生育から収穫までを体験。	仙台農業協同組合
2	JA仙台食農教育プラン 学童農園	小学生	○農作業体験（地区青年部が主体となって実施） ◆田植え 馬場小、富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、七郷小 ◆生きもの調査 新田小 ◆稲刈り 馬場小、富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、七郷小、生出小、大沢小 ◆じゃがいも播種・収穫 杉の子保育園 ◆バケツ稲作栽培 国見小	・田植え5月 ・生き物調査7月 ・稲刈り10月	田植え：約600名 生き物調査：約120名 稲刈り：約600名	仙台農業協同組合
3	JA仙台食農教育プラン 豆腐づくり講座	小学生	○地場産大豆を使って豆腐づくりを指導 1回35人前後で3時間ほどの講座（750gの大豆使用） ◆今年度も募集し参加校を募ります。	・7月上旬に各市町村の教育委員会を通じ案内書を送付。11月頃から講座開始	3回の講習を実施（77名：八木山南・芦口・幸町） 残り4回（96名：八木山南・鹿野・黒松）の講習を予定	仙台農業協同組合

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします						
具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	筋力アップ！ ロコモ健康セミナー 「長寿社会を元気に 過ごすための食事」	一般市民	ロコモティブシンドローム（加齢による身体の運動機能低下）について学び、長寿社会を元気に過ごすための予防を取り上げた講座を開催する	7月13日（土）10時～13時 に講座を実施。	参加者は一般市民21名。 「長寿社会を元気に過ごすための 食事」をテーマにロコモとは 何かを学んでもらい、日頃の食 生活に取り入れたい食材を用い て調理実習を行った。参加者か ら「これからはもう少し食生活 に気をつけたい、講座内容を友 人にも伝えたい」等の感想をい ただいた。	泉中央市民セン ター・仙台白百 合女子大学
推進の柱③ 地産地消をすすめよう						
取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります						
具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	育てよう、夏野菜。 夏野菜でクッキング	女子大生	市民農園で実際に無農薬の夏野菜を育て野菜栽培の手法、自然の摂理や生態を知り、食と農とのかかわりや食材の地域性、野菜の調理性・栄養性等について学ぶ。	5月中旬から8月初旬	女子学生6名 5月連休明けに夏野菜の苗を定 植し、8月上旬に順次収穫す ることができた。自分たちが手 かけた野菜でクッキングすると いった一連の体験を積むことが できた。	仙台白百合女子 大学
具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地元野菜を取り入れ た弁当の考案・販売	一般の方々	女子大生と(株)HONOKA（社名）との協働事業を継続して展開。 女子大生が地元の野菜や魚介類を取り入れた夏の献立弁当を考案し、穂野かが作製した 弁当販売を行う。レシピ作成にあたって適塩を考えと野菜不足解消の一助となるように 地産地消を意識して旬の野菜を豊富に使用する。	R1年7月販売を目標に計画・ 立案し穂野かにて作製・販売を 行う	女子大生9名が立案した夏の献 立弁当2種類を20食限定で、7 月1日～14日の2週間にわたり 穂野かにて作製・販売した。一 般市民の皆様にも身体にやさしい 弁当を提供することができた。	仙台白百合女子 大学

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	大学生に向けた食育の推進	大学生	食育の授業や研究室ゼミを通して、食に関する知識を提供して意識を高め、学生が自身の食生活を見直し、改善することを促した。	2年生：年5回 3・4年生：月3回	2年生：毎回約140名 3・4年生：毎回9名	宮城大学食産業学群
2	教員に対する食の講習	幼稚園・保育園、小・中・高校の教員	食育に関する教員免許更新講習会を実施し、子どもに対して食の教育を実践していただくために役立つ知識や指導例等について、紹介・説明した。	10月5日に実施	参加者：24名	宮城大学食産業学群
具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり、自主的な活動につなげます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	朝ごはんフェア	大学生	宮城大学のサークル@グリーンが、森本素子先生の指導のもと、大学の農場で栽培した野菜や、寄付による食材を利用して、大学の加工棟で学生が自主的にスープ、パンやサラダ等を作り、無料で朝ごはんを提供した。	月1回、5月・6月に実施 12月にも実施予定	食事作り：毎回約10名 参加者：毎回約100名	宮城大学食産業学群
取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます						
具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ロコモティブシンドローム・サルコペニア予防の啓発	一般市民（高齢者）	ロコモティブシンドローム・サルコペニア予防のための食事や運動に関する講演を実施した（若林区南小泉老壮大学）。	11月27日に実施、年1回	参加者：約60名	宮城大学食産業学群

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品に関する講座等の開催	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に、食に関する様々な情報を発信する。 ○消費生活講座の開催	9月、1回	10月、1回開催 参加者数 58名	市民局
推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持とう						
取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます						
具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	広報誌「ゆたかなくらし」の発行	一般市民	・消費生活に関連する様々な情報の提供。	年4回発行 6月、9月、12月、3月 各9,000部発行		市民局
2	ホームページによる情報提供	一般市民	・食品表示に関する情報の提供。	随時	随時	市民局
3	消費生活センター内情報コーナーでの情報発信	一般市民	・行政機関や、各種団体の啓発資料等を設置し、情報提供の場とする。	随時	随時	市民局
4	食品に関する講座等の開催 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に、食に関する様々な情報を発信する。 ○消費生活講座の開催	9月、1回	10月、1回開催 参加者数 58名	市民局
5	仙台市オリジナル消費者教育教材の製作・配布	一般市民	・消費生活の知識を楽しく学ぶことができる消費者教育ウェブサイト「伊達学園」において、幼児期から成人まで発達段階に応じた情報提供を行う。また、学校における消費者教育をより一層支援することを目的とした小学校高学年向けのウェブサイト「授業でござる」では、お金の使い方や地産地消などの情報提供を行う。	随時		市民局
		小・中学生	・子ども達が消費生活について関心を持って学べるリーフレット等を製作し、市内の小中学校に配布。 ①めざせ！買い物名人（小学校高学年用リーフレット） ②めざせ！賢い消費者 伊達なくらし入門（中学生用副読本）	年1回 (3月予定)		

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-2 子育て世代のための食生活情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市ホームページ「くらしのガイド『子育て』」での情報発信	一般市民	・妊娠中の食生活や、離乳食、幼児食などの情報を提供		子育てサポートブック「たのしねっと」に掲載している内容（妊娠中の食生活・離乳食・幼児食について）の情報発信を実施。	子供未来局
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	離乳食・幼児食講座、試食会	地域の子育て家庭保護者	各保育所及び子育て支援センターでの離乳食講座、幼児食講座の実施を通して、子育て家庭の保護者へ健康的な食習慣について情報発信をする。	随時	各施設において、随時実施している。	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
2	献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ	保育所等入所児童の保護者	・保育所等の給食だよりを通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。 ・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し、健康的な食習慣についての情報を発信する。	通年	各施設において、随時実施している。	保育所 保育所連合会 子供未来局
3	親子調理活動	保育所等入所児童と保護者	・保育参観や懇談会等で親子調理活動を実施し、親子で食事作りを楽しみ、家庭での食への興味や関心を深める。	随時	各施設において、随時実施している。	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
4	保護者への啓発	保育所等入所児童の保護者	・給食だよりに食育活動報告を載せ、保護者に周知する。 ・懇談会や給食試食会を実施する。	通年	各施設において、随時実施している。	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
5	市民対象の食物アレルギー講演会の実施	乳幼児・学童期の保護者、市民	・食物アレルギーに対する正しい知識と給食に対する理解を深めるための研修会を実施する。（子供未来局・教育局共催）	9月27日	参加者数 109名	子供未来局 教育局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	・保育所連合会栄養士研修で乳幼児の発育・発達と食行動についての理解を深め、施設での実践につなげる。 ・栄養士研究委員会にて、テーマを設けて研究・発表する。	10月16日 通年	参加者数 181名	保育所連合会 子供未来局
2	保育所連合会給食担当者研修会	栄養士・調理員	・研修を通して、食育や乳幼児期の食事についての理解を深める。	8月21日、9月4日 2回	参加者数 84名、91名	保育所連合会 子供未来局
3	業務研修	保育士	・職場内で食育や食物アレルギーの研修を実施し、正しい知識を得るとともに職員間での共通理解を深め実践につなげる。	随時	各施設において、随時実施している。	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
4	食物アレルギー研修会	保育所等職員	・「エピペン®」を処方された乳幼児がいる保育所において研修会を実施する。	随時	エピペンの貸出による実施。 実施施設 9か所 参加者数 128名	保育所 子供未来局
具体的な取組 ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします。						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	母子手帳交付説明会、母親教室等での啓発	妊産婦 その家族	・妊娠中の食生活の確認と、家族を含めた健康的な食習慣についての啓発・相談・指導	各区・支所にて毎月1～2回 開催予定	母子健康手帳交付説明会： 73回実施、624人参加、個別相談3件 母親教室等：34回実施、456人参加、個別相談16件 産後交流会（宮総）1回実施、17人参加 歯ッピー教室（宮総）4回実施、53人参加、個別相談6件	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
2	3～4か月児育児教室での啓発	乳児の保護者	・乳児の食生活についての資料配布、パネル展示等	年間223回開催予定	132回実施、4,380人受診、個別相談699件	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
3	離乳食教室	乳児の保護者	・離乳食の進め方や具体的な調理の方法を学ぶ ・参加者間の情報交換により、親同士のつながりをもつ機会とする ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取と内容の充実について啓発（太白）	年間66回開催予定	44回実施、956人参加、個別相談237件	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
4	1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳児健診における啓発	幼児の保護者	・幼児期の健康的な食生活についての啓発と、個別相談 ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取について啓発（2歳6か月児歯科健診集団指導時：太白）	1歳6か月児健康診査：214回予定 2歳6か月児歯科健康診査：210回予定 3歳児健康診査：213回予定	1歳6か月児：140回実施、5,702人受診、個別相談771件 2歳6か月児：142回実施、5,603人受診、個別相談479件 3歳児健診：144回実施、5,768人受診、個別相談330件	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
5	訪問相談	地域の子育て家庭保護者	・地域子育て家庭へ訪問し、乳幼児の食のすすめ方について個別に相談指導を行う。	随時	公立保育所の子育て支援センター（室）6か所において、随時実施している。	保育所 子供未来局

【様式1】令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民センター、児童館への出前講座	地域の子育て家庭保護者	・児童館、市民センターで離乳食講座、幼児食講座を実施し（出前講座）、生活リズムや健康的な食習慣についての情報を伝える。	随時		保育所 子供未来局
取り組みの方向性 ①-G 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます						
具体的な取り組み ①-G-1 保育所の食育計画に基づき、日々の生活の中で子供たちへの食育を充実させます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所等における食育の充実	保育所等入所児童と保護者	・各施設において「食育の計画」並びに「食育活動計画」を作成し、保育の中での食育を推進する。 ・毎日の食事の提供や食事の場面を通して、食事のマナーや食習慣、食事前後の衛生習慣を身につけるよう働きかける。 ・各施設での食育活動を通して、朝食を毎日バランスよく食べる家庭が増えることを目指す。	随時	各施設において、随時実施している。	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
		保育所職員	・食育の一環として保育士が子どもと同じものを食べ、子どもが食べ物に興味や関心を持ち、食べる意欲を育てたり食事マナーに気付かせるような働きかけを行う。	5月～3月 公立	公立保育所24か所で実施	
具体的な取り組み ①-G-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	畑作りとその収穫物を利用した食事作り	保育所等入所児童	・畑作りの年間計画をたてる。 ・子どもに、作物の世話や成長の観察、収穫を通じた働きかけを保育の中で実施し、食べる体験までつなげる。 ・収穫物を計画的に給食のメニューに取り入れる。	通年	各施設において、随時実施している。	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします						
具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	父親育児参加推進事業のびすく仙台「パパ'sクッキング」	乳幼児のいる父親	・父親が参加しやすい土日にガスサロンを会場に料理教室を開催	年2回開催 ①7月23日 ②12月17日		子供未来局

<b>推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう</b>						
取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます						
具体的な取り組み ②-A-1 給食や季節ごとの行事を通じて、行事食、郷土食にふれる機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所等給食における食文化の継承	保育所等入所児童	・給食の献立や行事に、行事食や郷土料理（伝統食）を提供することを通じて地域の食事を味わったり、由来を知ったりする。	随時	各施設において、随時実施している。	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
<b>推進の柱③ 地産地消をすすめよう</b>						
取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します						
具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所等給食における地場産物の活用推進	保育所等入所児童と保護者	・地域の生産者との連携により、米や季節の野菜を給食のメニューに取り入れる。 また、生産者と児童が野菜や食材を通して交流を図り、流通について学んだり、感謝の気持ちを持つ。 ・保護者にも活動の様子を伝え、地元の食材に関心を持ってもらう。	通年	各施設において、随時実施している。	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
<b>推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持とう</b>						
取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます						
具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食用食材の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・保育所・学校における給食用食材の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	6月～3月	子供未来局 保育所給食サンプル検査 HP掲載 162件 保育所給食1食全体検査 HP掲載 50件	子供未来局 教育局

推進の柱④ 環境を意識した食の取り組みをすすめよう						
取り組みの方向性 ④-A 食品ロス削減の取り組みをすすめ、市民の実践につなげます						
具体的な取り組み ④-A-1 「モッタイナイ」の精神で、食品を無駄なく使い、食品ロスや生ごみを減らす取り組みを応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	モッタイナイキッチン	一般市民	食の3Rにつながるレシピ（普段は捨ててしまう食材の使用、生ごみを出さない調理の工夫など）投稿と、食に関する様々な知識（地産地消や伝統食文化など）を提供するウェブサイトを作成し、食品ロス削減に関する市民の気運醸成と食の大切さを再発見するきっかけづくりを進める。	通年（平成29年9月1日サイト公開）	キャンペーンを2回実施 ①レシピ投稿キャンペーン 投稿者の中から抽選で2名にプレゼント。 7/16～8/27 投稿数13 ②モッタイナイレシピ実習 講師を招き、モッタイナイを切り口にした巻寿司教室を開催（定員30名）。 10/30 応募者数109名、当日19名出席	環境局
2	食品ロス削減のヒント「親子で旬のジャムづくり」【新規】	児童とその保護者	規格外のリンゴを使用したジャムづくりを通して保存食や食品ロスについても考える調理体験教室を実施。	10月6日	実施回数 1回 参加者 12組29人	環境局
具体的な取り組み ④-A-2 フードバンクの取り組みをすすめます ④-A-3 フードバンク、フードドライブの取り組みを市民に広く啓発し、食品ロス削減への気運を高めます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	フードバンク・フードドライブ	一般市民	環境関連イベント時に未使用食品等の回収事業を実施し、食品ロス削減に関する市民啓発を図るとともに、消費期限と賞味期限の違いなど食品に関する様々な情報を提供する。	年2回実施予定（10月と2月）	・10月 14か所の回収拠点で実施、食品の回収量は2,397品目、1,233kg。回収した食品はNPO法人ふうどばんく AGAINに全量引き渡し	環境局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	せんだい産農産物表示マーク（愛称:ここでちゃん）の普及	一般市民	・各種イベントでの「せんだい産農産物表示マーク（愛称:ここでちゃん）」の普及を図る。 ・ホームページでの啓発及び、生産者や販売者、飲食店へのマークの普及を図る。	随時		経済局
2	地産地消推進サポーター事業	一般市民	・地産地消推進サポーター新規募集 ・「おいしいせんだい農産物（地産地消ガイドブック）」の配布や、ホームページ等を通じて、地産地消及び仙台市の農産物についての情報提供を行う	随時	サポーター数 ・消費者 269名 ・生産者 70名 ・販売店 90店舗 ・飲食店 70店舗	経済局
3	NHKテレビ「もりすた！」	一般市民	・仙台市中央卸売市場で取り扱う旬の食材と、その食材を生かした美味しい食べ方等を紹介する。	放送予定回数 56回	放送回数 38回	経済局
4	小学校、一般市民などの市場見学への対応	一般市民	・食品流通の仕組みと市場の役割について理解を深めてもらうため、一般市民や小学生親子に中央卸売市場内を見学してもらう ①一般見学 ②夏休み親子市場見学会 ③市場見学ツアー（旅行会社との共催）	実施回数 ①随時 ②8月（2回） ③7月20日	①18団体 404名 ②29組 87名 ③1グループ 8名	経済局 (事業主体： ②仙台おさかな普及協会 やさい・くだもの普及委員会 ③(株)たびむすび)

具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市旬の香り市	一般市民	仙台市内の生産農家が直売をする ①仙台市勾当台公園カフェ前 ②せんだい農業園芸センターみどりの杜	①4～11月（原則第2・第4水曜日開催） ②年6回程度	①14回開催 ②5回開催（延べ27日実施）	経済局
2	地産地消推進サポーター事業	地産地消推進サポーター	・仙台市内の生産現場や、直売所、農家レストラン等、地産地消に取り組む施設の見学を行う ・畑での播種や収穫体験等を通じて、生産者との交流及び生産現場への理解を深める機会の創出を図る	5月 播種体験1 7月 収穫体験1 8月（予定） 現場見学1 9月（予定） 播種体験2 10月（予定） 現場見学2 11月（予定） 収穫体験2	播種体験①5/10 20名 収穫体験①8/9 17名 生産現場見学会①8/10 21名 播種体験②9/5 19名 収穫体験②10/31 18名 生産現場見学会②11/6 23名	経済局

【様式1】 令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）

仙台市経済局

3	地産地消イベント	一般市民	・仙台産農産物を使った料理教室や栽培・収穫体験等を開催し、地産地消への関心を高めてもらう。	年3回程度	・親子で伝統料理を作ろう 8/18 10組27名 ・秋野菜の種まきと収穫体験 8/31 10組28名 11/2 8組23名 ・旬の仙台産野菜を使った料理教室 11/28 17名	経済局
4	せんだい収穫まつり開催	一般市民	・せんだい農業園芸センターにて開催 ・生産者と消費者等の相互交流を図るためのイベント	11/9・10開催	2日間で計10,800名	経済局

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	レクリエーション農園、学童農園設置促進事業	一般市民、児童	・市民や子どもたちが「農」と触れあい、体験できる機会の充実を図るための各種農園設置への支援（レクリエーション農園については開設に係る相談等の対応）	各農園4月～2月に2回以上 農作業体験実施	学童農園78農園68校 （中学校1, 小学校36, 幼稚園18園, 保育園13園）	経済局

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地産地消推進サポーター事業	一般市民	・直売やイベントを通して市内産農産物の販売、ホームページでの活動紹介で地産地消を推進する。	随時		経済局
2	農食ビジネスモデル構築事業	一般市民	生産者、流通事業者、飲食店等と連携し、生産地と消費地の近さを活かした流通モデルを構築することにより、枝豆をはじめとした地元の農産物の高付加価値化、消費拡大を図る。	通年	今朝採り枝豆 参加飲食店数：95店舗 参加量販店・小売店数：18店舗	経済局
3	エコファーマーの周知	一般市民	・せんだい農業園芸センターで開催のせんだい収穫まつりにエコファーマーPRコーナーを設置し、エコファーマーや環境にやさしい農業についてのPRを実施	11/9・10開催	せんだい収穫まつり入場者数10,800人	経済局
4	保育所等サンマ教室への協力	①保育所等入所児童 ②中学生	①おさかな普及協会が、保育所等に出向き、子供達が、魚食に対する興味を持ったり、関心を深めてもらえるよう、子供達にサンマの炭火焼を体験させる ②おさかな普及協会が、中学校に出向き、生徒達が魚食に対する興味を持ったり、関心を深めてもらえるよう、生徒達にサンマをおろしてつみれ汁を作ることや、サンマの炭火焼を体験させる	実施時期 10～11月 実施回数 20回 保育所等 2回 中学校 18回	①保育所等 340名 ②中学校 962名	経済局 （事業主体：仙台おさかな普及協会）
5	生産者による出前授業への協力	小学生	①小学校の授業の一環として、生産者が小学校に出向き、農産物等の生産・流通現場について直接子供たちに話をすることにより、食の大切さを伝える。 ・南高梅 ・なす ②大学の管理栄養士を養成する学科において、農産物生産者によるセミナーが行われ、学生達が実習で梅ジャムと梅シロップを作り、試食した。	①小学生 ・南高梅 6月6日 ・なす 7月16日 ②大学生 6月7日	①小学生 ・南高梅 小学生 72名 教諭等 40名 保護者 10名 ・なす 小学生 75名 ②大学生 約80名	経済局 （事業主体： ・農業協同組合 ・(株)宮果 ・仙台中央青果卸 (株) ・やさい・くだもの普及委員会）

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持つ						
取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます						
具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくれます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	経済局分 検体数20（野菜0、林産物20）	経済局分 R1年度分終了 ・実施時期 4月～9月 ・検体数20（林産物20）	健康福祉局 経済局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校給食フェア	一般市民	・市役所食堂での給食メニュー提供及び資料展示	令和2年1月23～28日まで実施予定。資料展示は1階ギャラリーホール。		健康教育課 教育局
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-3 学校において食生活調査を実施し、調査結果を活用して健康教育を実施します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的施策の取組	小・中学生	・今後5年間にわたって取り組む「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策に学校・家庭・地域・関係機関の連携を基盤とし、取り組んでいく。	平成29～31年度健康教育推進校として、小・中学校3校を指定。また、平成30年～令和2年度健康教育推進校として、小・中学校2校を指定。健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」8月5～6日実施。	各校での取組実施及び連絡会での情報交換2回  健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」講演「スポーツ栄養とスポーツドリンク」98名参加	小・中学校 教育局
2	健康実態調査	小・中・高校生	・発育状況・疾病及び体力・運動能力、食習慣についてその実態を把握し、分析検討を加え、もって児童生徒の健康と体力の増進を図る。	5～7月実施。	小・中・高校生を対象に調査を実施し、結果を集計中。	市立学校 教育局
具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民対象の食物アレルギー講演会の実施	乳幼児・学童期の保護者、市民	・食物アレルギーに対する正しい知識と給食に対する理解を深めるための研修会を実施する。(子供未来局・教育局共催)	9月27日実施。	参加者109名	子供未来局 教育局
2	市民対象の食育に関する講演会の実施	学童期の保護者、市民	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し、保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。(学校職員対象の研修会を市民にも開放)	健康教育研修会「せんだいっ子健康セミナー」8月5～6日実施。	参加者98名	教育局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食物アレルギー研修会	学校職員	・食物アレルギーに対する正しい知識を深めることと緊急時の対応についての研修会を実施する。 ・「エビペン®」を処方された児童生徒がいる学校において研修会を実施する	5月20日実施。 通年。	事例紹介「組織で取り組んだ食物アレルギー対応」 講演「食物アレルギーとアナフィラキシーショックについて」 参加者194名	小・中学校教育局
2	食育講演会	学校職員	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し、保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。(学校職員対象の研修会を市民にも開放)	健康教育研修会「せんだいっ子健康セミナー」8月5～6日実施。(再掲)	参加者98名	小・中学校教育局

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子食育講座	小学生とその保護者	・子供の基本的な生活習慣の確立と生活リズム改善を目的として、栄養士等を講師とした「食育」に関する講話・調理実習を内容とする講座を行う（各小学校の社会学級やPTA等に委託）	令和元年6月～令和2年1月 43校で実施予定		教育局

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	調理講習会in学校給食センター	小学生とその保護者	・学校給食センターの見学や調理実習を通じて、食の大切さについて学ぶ機会を提供	7月25日実施。	「親子で作る夏野菜を使ったお風呂はん」をテーマに実施。10組20名参加。	教育局

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-2 学校給食を通じて行事食、郷土食を伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校給食を生きた教材として活用した食育の推進	児童生徒・保護者	・給食の時間における食に関する年間指導に基づいて、地域の郷土食や行事食を提供することを通じて、地域の食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心を高める。併せて保護者へも献立表や給食だよりで紹介し、家庭における食育を促す。	各学校において、随時実施。		小・中学校教育局

<b>推進の柱③ 地産地消をすすめよう</b>						
取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します						
具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「せんだいっ子給食月間」	児童生徒	・6月に「せんだいっ子給食月間」を設け、地場産物の活用状況についての調査を行う。	6月実施。	単独調理校・学校給食センターにおける地場産物の活用状況調査を実施。地場産物利用率29.9%	教育局
取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります						
具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ホームページでの情報発信	一般市民	・学校、仙台市教育委員会のホームページで地場産物活用献立の紹介などを広く発信する。	随時。		教育局
<b>推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持つ</b>						
取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます						
具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食用食材の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・保育所・学校における給食用食材の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	随時。	使用する食品の検査結果及び給食一食検査結果を随時発信	子供未来局 教育局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市ホームページ食育のページでの発信	一般市民	・食育事業の紹介、食育推進隊などの活動紹介、関係機関等へのリンクなど、情報を発信	通年	随時更新	健康福祉局
2	各区ホームページの食育のページでの情報提供	一般市民	・食育に関する事業のお知らせや実施状況 ・食で健康サポート店の紹介 ・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用、おすすめレシピ紹介、関係機関等へのリンクなど	通年	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
3	健康づくり情報コーナーの設置	一般市民	・食事バランスガイド、食で健康サポート店、健康づくりや生活習慣病予防の食生活等のパネル展示、レシピや資料配布	通年	各区・総合支所の庁舎内に設置	各区保健福祉センター 総合支所
4	食育月間事業 食生活改善普及運動 食育の日普及啓発	一般市民	・市政だより、区ホームページ、庁内放送、パネル展、レシピの配布等による普及啓発 ・パネル展期間中、食育ワークショップを開催（泉区）	6月 食育月間パネル展実施 9月 食生活改善普及運動 毎月19日 食育の日	・各区、総合支所にてパネル展等開催、レシピ・啓発物配布、庁内放送を実施 ・食育ワークショップ（野菜について）開催：22名参加（泉区）	各区保健福祉センター 総合支所
5	「食育の日」のぼり設置による啓発	地域住民	・庁舎前・診療所前・地域の中心部国道沿いに「毎月19日は、食育の日」～家族で食事のことを話しましょう～ののぼりを設置しPR	毎月15日～19日の5日間	毎月実施	秋保総合支所
具体的な取り組み ①-A-2 子育て世代のための食生活情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子育てイベントでの啓発	子育て中の保護者	・第16回PTAフェスティバル2019にて、生活習慣病予防コーナーを設置し、「野菜を食べよう」をテーマに、小中学生の親子に健康的な食事について情報発信した。 野菜クイズ、野菜に関するパネル、フードモデル展示など	11月10日	コーナー参加者 300名	健康福祉局
2	子育てについてのイベント	子育て中の保護者とその子ども	・「いずみおやかフェスティバル」における食育の情報発信 郷土料理、手作りおやつ紹介など	10月30日 会場：未定	今年度参加なし	泉区保健福祉センター

【様式1】令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）

仙台市健康福祉局

具体的な取り組み ①-A-4 食育活動に取り組む市民のネットワークをつくり、活動についての情報を広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「仙台食育推進隊」の登録推進と情報発信	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>「仙台食育推進隊」の募集，登録。また，活動状況や情報をホームページなどで市民に提供</li> <li>食育サポーター交流会，研修会の実施</li> </ul>	通年	登録数 13団体・個人 交流会今年度実施なし	健康福祉局
2	食生活改善推進員の活動支援	食生活改善推進員	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の講座や個人への普及啓発等のボランティア活動のための情報提供，助言</li> <li>推進員育成の支援</li> <li>3分会合同の地区リーダー研修会の実施</li> </ul>	6月 定期総会 6月・10月 地区研修会 (養成講座を兼ねる：宮総) 10～11月 推進員育成講座(泉区) 2月 リーダー研修会	<b>【宮総】</b> 6/26 介護食について(講話と調理実習) 11名 10/9 郷土料理について(調理実習) 12名  <b>【秋総】</b> 5/30 総会(10名) 6/19 学習会(9名) 7/12 料理講習会(15名) 9/12 学習会(10名) 11/1 イベントにおける試食提供(10名/試食130人分)  <b>【泉】</b> 食でヘルスアップ講座実施(推進員養成講座) 11/8 5名参加 11/26 6名参加	健康福祉局 泉区保健福祉センター 宮城総合支所 秋保総合支所
3	食育サポーター養成講座	食育に関心のある市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で活動する食育サポーターを養成する</li> <li>今年度は，既存のグループ(もぐもぐ，La ta ta♪(ラッタッタ)，郷土料理つたえ隊)の追加メンバーを養成する。</li> </ul>	未定	実施なし	宮城野区保健福祉センター
4	食育サポーターの活動支援	食育サポーター	<ul style="list-style-type: none"> <li>①食育サポーターの研修</li> <li>②食育サポーターの活動の場の提供，紹介等</li> </ul>	①2回(9月，12月) ②随時	①9月 参加者8名 ②定例会，地域での食育活動のグループ活動状況確認	宮城野区保健福祉センター

【様式1】令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）

具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり、自主的な食育活動につなげます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	大学との連携による若い世代への食育推進事業「大学生の食育プロジェクト」	若い世代	<ul style="list-style-type: none"> <li>仙台白百合女子大学、宮城学院女子大学の協力により、学生自らが若い世代の食の課題を共有し、若い世代に向けたレシピの作成およびレシピを活用した取組を企画する。メンバー 12名</li> <li>成人式の「交流のひろば」での啓発活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画会議：6回程度開催</li> <li>1月12日（日）</li> </ul>	第1回 10月3日 ワークショップ「どんなレシピなら興味を持てる？」 第2回10月24日 レシピのアイデアを出し合おう 第3回11月7日 アイディアをブラッシュアップ 講話：「野菜を食べよう！」 野菜ソムリエ カワシマヨウコ氏 第4回11月28日 レシピを形にしよう（調理実習）	健康福祉局
2	若い世代の健康づくり支援事業	専門学校 학생	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュースレター（NL）とホームページによる健康づくりの普及啓発</li> <li>専門学校と連携し、健康教育や研修会等の実施</li> </ul>	NL：年2回発行 健康教育：随時	NL配布：1回29か所（専門学校26、関係機関3）	青葉区保健福祉センター
		大学生等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校を訪問し、健康課題など状況を把握する</li> <li>リーフレットによる検診と食育の啓発</li> </ul>	6月	6校啓発 啓発資料数 1,310	宮城野区保健福祉センター
		大学生等	<ul style="list-style-type: none"> <li>東北工業大学の新入生を対象に健康づくりの講話による啓発</li> <li>東北工大職員を対象に健康づくりの講話による啓発</li> <li>大学文化祭パネル展示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講話 7月11日実施</li> <li>講話 10月23日実施</li> <li>大学祭 10月23日実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>115名参加</li> <li>27名参加（個別1名）</li> </ul>	太白区保健福祉センター
大学生等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①食育月間に合わせ、朝食についての資料を配布。《①-A-1再掲》</li> <li>②大学祭等で食育のブースを設置し、食育体験の場を設置する。あわせて栄養相談、情報提供も行う。</li> </ul>	①6月 ②10～11月	①大学・短大 4校 専門学校 4校 寄宿舍 1施設 ②10/19, 20 延べ106名	泉区保健福祉センター		

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-1 子供や家族の食習慣について、現状を把握します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	幼児の食生活状況の把握	1歳6か月児健康診査・2歳6か月児歯科健康診査・3歳児健康診査受診者	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児健診の問診票や健診結果のデータ等を集積し、食生活状況を把握する</li> </ul>	通年	身長、体重、肥満度、問診項目、個別相談の結果等を、各区・総合支所で集計中	各区保健福祉センター 総合支所
2	幼児健診、離乳食教室、訪問栄養相談での把握	乳幼児の保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>問診票、アンケート、聞き取り等による食生活状況の把握</li> </ul>	離乳食教室にて母親の食生活状況についてのアンケート実施（継続）	4回 51名分回収	宮城総合支所

【様式1】令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域健康教育 (出前健康教育, 出前講座, 宅配講座)	地域の子育て中の保護者	・乳幼児期の食生活についての講話, 個別相談等	随時受付	(集団指導) 実施回数: 27回 参加人数: 259名 (個別指導) 延61名	各区保健福祉センター 総合支所
2	幼児食相談会	概ね1歳~1歳4か月児と保護者	・食育や幼児食についての個別相談会	5回	3回23組	青葉区保健福祉センター
3	「モーベジ! レシピ」を活用した食育啓発	子育て世代	・幼児健診, 児童館等での健康講話で, 「モーベジ! レシピ」を活用した啓発活動	2歳6か月児歯科健診, もぐもぐセミナー, 児童館での健康講話でレシピ配布による啓発	37回	太白区保健福祉センター
4	子育て支援施設における歯科保健・食育推進事業《①-B-9再掲》	乳幼児とその保護者	・児童館等の子育て支援施設と地域課題を共有し, 解決のための教室等を一緒に企画し実施する。	児童館5館と連携教室は計20回開催	児童館5館と連携教室: 計17回開催 参加組数: 94組	若林区保健福祉センター
具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子育てイベントでの啓発《①-A-2再掲》	子育て中の保護者	・第16回PTAフェスティバル2019にて, 生活習慣病予防コーナーを設置し, 「野菜を食べよう」をテーマに, 小中学生の親子に健康的な食事について情報発信した。 野菜クイズ, 野菜に関するパネル, フードモデル展示など	11月10日	コーナー参加者 300名	健康福祉局
具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育情報交換会	認可保育所, 認定こども園, 小規模保育事業施設, 認可外保育施設, 企業主導型保育実施施設, 事業所内保育施設の食育担当者等	・講話, 実践発表, 情報提供, 情報交換	青葉区・宮総共催 8/26実施	41施設(宮総管内10施設参加) 参加者数 42名	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
2	食育情報交換会	小中学校・幼稚園・保育所・児童館等の食育担当者, 訪問栄養相談員	・食育や健康づくりに関する講演, 事例紹介, 情報交換	年1回	実施なし	若林区保健福祉センター
3	学校保健に関する懇談会	小中学校・高校の教職員	・児童・生徒の健康問題や健康教育の取り組みに関する情報交換, 連携方法の検討	年1回	7/22 14校参加	若林区保健福祉センター

【様式1】令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）

仙台市健康福祉局

4	食育担当者情報交換会	保育所、幼稚園、学校の食育担当者	・事例発表、情報提供、情報交換等の開催	12月10日実施予定		太白区保健福祉センター 秋保総合支所
5	食育担当者への啓発【新規】	私立保育園、認定こども園等の食育担当者	・私立保育園栄養士会での講演（私立保育園栄養士会主催） 講演：各区保健福祉センターにおける乳幼児の食生活支援 質疑応答 ・認定こども園職員キャリアアップ研修での講演（予定） 講演：第3次食育推進計画について	7/3実施  1/10（予定）	7/3 170名参加	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	妊産婦食生活相談	妊産婦 その家族	・来所による妊娠中の食生活についての個別相談	随時	3件	宮城野区保健福祉センター
2	マミーズクラブ同窓会での啓発	母親教室卒業生（乳児の保護者）	・授乳中の母親の食事について講話と資料配布 ・離乳食の始め方についての講話・個別相談	7回	6回40名	青葉区保健福祉センター
3	育児相談会「まめっこの会」	1歳までの乳幼児と保護者	・講座 ・育児相談 ・育児の情報提供など	年6回	4回 栄養相談18	青葉区保健福祉センター
4	歯ッピー教室(1歳児歯科保健教室)における啓発	幼児の保護者	・乳児期から幼児期にかけての望ましい食生活についての啓発（集団指導）と個別相談	年6回（奇数月）開催（定員20組×6回）宮総	4回 53組（個別相談6件）	宮城総合支所
5	ママパパくらぶでの啓発	妊婦	・妊娠中、出産後の身体を考えた食生活についての講話、資料配布	年8回	6回 64名	宮城総合支所
6	あかちゃんくらぶでの啓発	乳児の保護者	・乳児期の食事の進め方と家族の食生活について講話	年2回	1回 17名	宮城総合支所
7	1歳の歯みがき教室	幼児の保護者	・乳児期から幼児期にかけての望ましい食習慣確立についての講話と相談	12回	8回実施 参加：100組 個別：26名	泉区保健福祉センター
8	育児相談	乳幼児の保護者	・親が現在の子供の食事内容や与え方等について相談し、子供にあった対応についての確認をし、自信を持って食事づくりができるよう支援をする	12回（高砂保健センター、岩切保健センター各6回）	高砂 4回 40件 岩切 4回 37件	宮城野区保健福祉センター
				所内、六郷保健センター、七郷保健センターにて各12回	所内8回 53人 六郷8回 32人 七郷8回 63人	若林区保健福祉センター
				茂庭台 3回（2回実施） 東中田 4回（2回実施） 区役所 6回（4回実施）	個別：7件 7件 11件（集団47組）	太白区保健福祉センター
				6回 所内で偶数月に開催	4回 栄養相談53件	泉区保健福祉センター
9	育児相談（幼児健診事後）	乳幼児の保護者	・1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診・3歳児健診の事後指導の教室で、幼児期の健康的な食生活についての講話と相談	3回 （1.6事後2回、2.6と3.7事後1回）	7月 3件 8月 5件	泉区保健福祉センター
10	訪問栄養指導事業	おもに妊産婦、乳幼児の保護者など	・家庭訪問により、生活実態に合った具体的な支援をする	通年	延件数 妊産婦：2件 乳幼児：362件 その他：0件	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所

【様式1】令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）

仙台市健康福祉局

11	食生活・栄養相談	乳幼児の保護者及び妊産婦	・電話、来所による栄養相談	通年、随時受付	妊産婦：27件 乳幼児：324件	各区保健福祉センター 総合支所
12	ハロー赤ちゃん	初妊婦	・来所による妊娠中の食生活についての集団指導・個別相談	年6回（4回 11月末時点）	84名	太白区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	拡大学校保健委員会	保護者	・拡大学校保健委員会（保護者参加）の中で、地域の健康課題や児童の健診結果について共有し、生活習慣改善に向けた取り組み等について検討する。	12/6 大倉小学校にて実施予定		宮城総合支所
2	児童館と連携した健康教育	児童	・児童クラブを対象として、朝食の大切さやおやつの摂り方、栄養のバランス等健康的な食生活についての講座を実施	随時実施だが、夏休み等の長期休業時の実施を呼びかける	11月末現在 実施なし	宮城総合支所
3	保育所などと連携した健康教育	乳幼児の保護者	・保育所地域子育て支援センターとの連携による離乳食講座（調理実習）	11月20日予定	11/20実施 15組参加	泉区保健福祉センター
4	学齢期健康づくり事業【新規】	児童、保護者	・児童館や小学校と地域の健康課題を共有し、生活習慣改善に向けた教室等を一緒に企画し実施する。	通年	実施回数 3回 （児童館1回、小学校2回） 参加者 95人 （児童18人、保護者77人）	宮城野区保健福祉センター
5	子育て支援施設における歯科保健・食育推進事業	乳幼児とその保護者	・児童館等の子育て支援施設と地域課題を共有し、解決のための教室等を一緒に企画し実施する。	児童館5館と連携 教室は計20回開催	児童館5館と連携 教室：計17回開催 参加組数：94組	若林区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-10 食育関係機関、関係者の資質向上とネットワークづくりをすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育情報交換会 《①-B-7 再掲》	認可保育所、認定こども園、小規模保育事業施設、認可外保育施設、企業主導型保育実施施設、事業所内保育施設の食育担当者等	・講話、実践発表、情報提供、情報交換	青葉区・宮総共催 8/26実施	41施設（宮総管内10施設参加） 参加者数 42名	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
2	子育てネットワーク会議	保育所、幼稚園、児童館、市民センター、育児サークル、託児ボランティアグループ、社協等	・子育てネットワーク会議の中で食育の情報提供を行う	年2回 1回目（5月23日）	5月23日 44名参加	宮城総合支所

【様式1】令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）

仙台市健康福祉局

3	食育情報交換会 《①-B-7 再掲》	小中学校・幼稚園・保育所・児童館等の食育担当者、訪問栄養相談員	・食育や健康づくりに関する講演、事例紹介、情報交換	年1回	実施なし	若林区保健福祉センター
4	食育担当者情報交換会 《①-B-7 再掲》	保育所、幼稚園、学校の食育担当者	・事例発表、情報提供、情報交換等の開催	12月10日実施予定		太白区保健福祉センター 秋保総合支所
5	学校・保育所・地域栄養連絡会	小・中学校栄養教諭・栄養士、支所栄養指導員	・各ライフステージごとの食生活の課題を共有し、地域全体の食育の推進を図る。 ・健康のつどいにて各校・保育所の食育紹介	6月 11月	7/29 連絡会開催 5施設参加 11/1 健康のつどい 11/7~14 秋保・里センターにて食育活動パネル展示	秋保総合支所
6	地域子育て交流会	いずみ食育の輪、育児サークル、育児サロン、のびすく泉中央、泉区中央市民センター	・「子育て応援倶楽部いずみん」における食育活動支援と情報提供 いずみおやこフェスティバルにおける食育の情報発信《①-A-2再掲》	おやこフェスティバル 10月30日	今年度参加なし	泉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し、若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します

具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により、若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え、食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	若い世代の健康づくり支援事業 《①-A-5 再掲》	専門学校の学生	・職員や学生に向けた健康情報（ニュースレター：NL）の発信 ・専門学校と連携し、健康教育や研修会等の実施	NL：年2回発行 健康教育：随時	NL配布：1回29か所 （専門学校26、関係機関3）	青葉区保健福祉センター
2	地域健康教育 （出前健康教育、出前講座、宅配講座）	小・中・高校生及び保護者	・生活と食事のリズム、朝食の大切さ、バランスのよい食事等をテーマにした健康教育	随時	実施なし	宮城野区保健福祉センター
3	地域健康教育 （宅配講座）	幼稚園・小・中・高校生及び保護者等	・生活と食事のリズム、朝食の大切さ、バランスのよい食事等についての講話。	随時	2回 9/4 15人 10/8 100人	若林区保健福祉センター
4	地域健康教育 （次世代の健康づくり推進）	幼稚園・小・中・高校生・大学生及び保護者等	・「健康な食生活、歯と口の健康、防煙」等の内容を盛り込んだ総合的な健康教育の実施。	随時	小学校対象 4回 237名 8/1 (90名)、8/6 (78名)、10/16 (48名)、10/28 (21名) 大学生対象①-A-5再掲 7/11 (115名)	太白区保健福祉センター
5	若い世代を対象とした食育 《①-A-5 再掲》	大学生等	①食育月間に合わせ、朝食についての資料を配布。 《①-A-1再掲》 ②大学祭等で食育のブースを設置し、食育体験の場を設置する。あわせて栄養相談、情報提供も行う。	①6月 ②10~11月	①大学・短大 4校 専門学校 4校 寄宿舎 1施設 ②10/19, 20 延べ106名	泉区保健福祉センター

【様式1】令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします

具体的な取り組み ①-D-1 企業・団体・組織等との連携により、働き盛り世代向けに、食習慣改善のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	働き盛り世代の健康支援事業	児童と保護者	・市民センター、学校との連携による健康教育	随時	なし	青葉区保健福祉センター
2	健康情報の提供	タクシー事業者 理美容組合員	・職員や顧客向けの健康情報の提供（掲示物等）	情報提供（栄養関係）5回 9月・10月・11月・12月・2月	4回 タクシー：延べ20か所 理美容：延べ256か所 その他：延べ8か所	宮城野区保健福祉センター
3	職域と連携した生活習慣改善のための事業	働き盛りの男性	・生活習慣病予防のための健康づくり講座	随時	2回 6/7 36人 7/19 19人	若林区保健福祉センター
4	生活習慣改善に向けた事業	働き盛り世代	・事業所で働く方を対象とした生活習慣改善の出前講座の実施。 「健康的な食生活、歯と口の健康、防煙」の内容を盛り込み、総合的な健康教育を行う。	随時 10月4日 国土交通省職員講話実施	21名参加	太白区保健福祉センター
5	健康づくり情報提供	働き盛り世代	・消防団健康教育、スポーツレクリエーション大会時に情報提供	9月・2月	9/29 消防団 健康教育（運動）実施（50名）	秋保総合支所
6	生活習慣改善啓発事業	働き盛り世代	・商工会との連携による、地域の事業者及び従業員への啓発 会員への啓発ポスター送付、会報誌への記事掲載、地域健康教育チラシ提供等 ・働き盛り世代が集まる市民センターや地域のイベント等における啓発活動 ①パパ&ママふぁんふぁんフェスタ（泉中央）における保護者への啓発 ②オータムフェスティバル（泉中央南）来場者への啓発 ・業種別衛生管理講習会における参加者への啓発 ③糖尿病予防についてのポスター配布と講話	6月ポスター送付 会報誌9月号  ①10月2日 ②10月26日  ③8～9月 計4回	会員数 約2,100 （宮総、秋総管内含む）  ①69名 ②136名  ③延べ228名	泉区保健福祉センター
7	地域健康教育	働き盛り世代	・商工会等団体との連携による、健康教育の実施	随時	2回 延べ38名参加	泉区保健福祉センター
8	健康づくり推進のための環境整備啓発事業【新規】	働き盛り世代	・「仙台いきいき市民健康フォーラム」において健康づくりブースの一環で、健康増進センターとブースを設置。「野菜の実測」体験と減塩の取り組みについての啓発。	11月23日	フォーラム参加者 150名 野菜実測体験 70名	健康福祉局 各区保健福祉センター 健康増進センター

具体的な取り組み ①-D-2 地域の状況に応じて、生活習慣病予防について学習する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域健康教育（出前健康教育、出前講座、宅配講座）	一般市民	・町内会、地域事業所等での、生活習慣病予防などをテーマにした健康教育	随時	（集団指導） 実施回数：4回 参加者数：81名 （個別指導）0件	各区保健福祉センター 総合支所

【様式1】令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）

仙台市健康福祉局

2	生活習慣病予防のための健康相談会	一般市民	・イベント形式で血管年齢測定及び体力測定を実施し、状況に合わせ、食生活についてのアドバイスを行う	9月13日	24名参加	宮城総合支所
3	生活習慣病予防講座（高森地域連携事業）【新規】	高森地区居住者	「T-Café」高森地域包括支援センター、泉区社協、仙台市健康増進センター、泉区保健福祉センター共催による、3回コースの糖尿病予防講座を開催	11/27 12/4 12/11	延べ27名参加	泉区保健福祉センター
具体的な取り組み ①-D-3 健康診断受診後の相談・指導を充実させ、食習慣の改善を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	特定保健指導	特定保健指導対象者（積極的支援）	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援	8月～	延59件	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
2	基礎健診保健指導	基礎健診保健指導対象者	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援	9月～	延4件	各区保健福祉センター 総合支所
3	生活習慣病予防教室	HbA1c要指導者	・糖尿病発症予防のための教室	3回	延べ54名	青葉区保健福祉センター
4	健康づくり相談 基礎健康診査事後指導	健診受診者	・受診後の相談ができる場の提供 ・食習慣改善のための講座実施	年4回実施予定（6/27, 9/13, 11/28, 2/27）	3件	宮城総合支所
5	ヘルスアップセミナー	健診結果で血糖が要指導等の者、一般市民	生活習慣病予防のためのセミナー（医師講話・栄養講話・運動等）	医師講話 7/25 食生活講話 7/30 運動実技 8/6	医師講話 7/25 28人 運動実技 7/30 16人 食生活講話 8/6 15人	若林区保健福祉センター
6	生活習慣病予防講座（健康づくり講座）	特定健診要指導者	・生活習慣病発症予防のための講座（健康づくり講座） 血糖（HbA1c）が高めの方を対象として医師講話、食事、運動の内容で実施予定	医師講話 1/29実施予定 栄養講話 2/7実施予定 運動実技・講話 2/14実施予定		太白区保健福祉センター
7	あおば健康づくり講座	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と個別相談	講座4回 相談12回	講座2回 44名 相談8回 14名	青葉区保健福祉センター
8	健康づくり相談	一般市民	・健康づくりのための食生活相談	月1回（10・12・1月は 月2回） 年間15回	12回（予定日以外にも実施）延べ15件	宮城野区保健福祉センター
9	健康生活講座	一般市民	・健康づくりのための食生活講話、演習	7月・12月（2回）	実施なし	宮城野区保健福祉センター
10	健康づくり講座、相談	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と食生活に関する個別相談	講座5回、相談10回	講座2回 10/16 11人 11/14 14人 相談 2人	若林区保健福祉センター
11	生活習慣改善相談	一般市民	・予約制の個別健康相談	通年（11月末まで10回）	延べ22名	太白区保健福祉センター

【様式1】令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）

仙台市健康福祉局

12	健康づくり相談	一般市民	・個別相談と講話による食生活や生活習慣改善のための支援	個別相談 月1回開設 ミニ講話 1回	個別：9件 健康づくり講話：1回 延べ 11名	泉区保健福祉センター
13	糖尿病予防啓発	一般市民	・世界糖尿病デー啓発	11月 パネル展	パネル展1回 資料配布数 616	宮城野区保健福祉センター
14	生活習慣病予防啓発	一般市民	・世界高血圧デーパネル展	5月	パネル展1回 資料配布数 1,038	宮城野区保健福祉センター
15	食生活・栄養相談	一般市民	・訪問、電話、来所による栄養相談	通年	訪問相談：0件 電話、来所での相談：延128件	各区保健福祉センター 総合支所
16	被災者の食生活支援	仮設住宅等入居者→復興公営住宅等入居者	・復興公営住宅集会所、中核支えあいセンター等での食生活相談 ・地域被災者健康相談等での講話、食生活相談 ・訪問、電話、来所による食生活・栄養相談	随時	随時 講話・相談会4回開催 参加 26組 個別相談1名	各区保健福祉センター 総合支所
17	生活習慣改善講座【新規】	健診結果で要指導の項目があった者等	・生活習慣病予防のための健康教室	2月		秋保総合支所

取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます

具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	高齢者の食生活に関する地域健康教育	一般市民（高齢者やその家族）	・町内会、老人クラブ、地区社会福祉協議会のサロン等を対象とした、高齢者の栄養に関する健康教育	随時	開催回数：15回 参加者数：延399名	各区保健福祉センター 総合支所
2	食生活・栄養相談（65歳以上）	一般市民	・訪問、電話、来所による栄養相談	通年	訪問相談：8件 電話、来所での相談：延42件	各区保健福祉センター 総合支所
3	食生活改善推進委員会における研修	宮城食生活改善推進委員会	・食生活改善推進委員会の研修会でフレイルや低栄養予防についての講話を行い、推進員を通じた地域の高齢者への普及啓発を図る。 ・今年度は歯と口の健康づくりをテーマとした講話を実施	5月28日	14名	宮城総合支所
4	介護予防サポーター事業における健康教育	介護予防運動サポーター	・介護予防運動サポータースキルアップ研修会等で、必要に応じ健康的な食生活について支援実施 ・サポーターを通じた地域の高齢者への普及啓発を図る。	若林 6月11日 泉 10月2回 秋保 9月24日	【若林】 6/11 15人 【泉】 11/18 23名 11/21 51名 11/22 63名 【秋保】 9/24 12名	若林区保健福祉センター 太白区保健福祉センター 泉区保健福祉センター 秋保総合支所

【様式1】令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）

仙台市健康福祉局

5	健康づくり情報提供	一般市民（高齢者やその家族）高齢者やその家族	・窓口来所者やサロン参加者等へ、フレイルや高齢者の栄養に関する資料を配布し、情報提供する	随時		秋保総合支所
取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります						
具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	各区ホームページの食育のページでの情報提供 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用、おすすめレシピ紹介、関係機関等へのリンクなど	通年	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
2	健康づくり情報コーナーの設置 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイド、健康づくりサポート店、生活習慣病予防の食生活等のパネル展示、レシピや資料配布	通年	各区・総合支所の庁舎内に設置	各区保健福祉センター 総合支所
3	区民まつりや地域のまつり、イベントでの啓発普及	一般市民	・健康づくりブースでの啓発普及 ・食事バランスガイドの紹介、活用方法の普及など ・クイズや演習など、媒体を活用した展示等	通年	実施回数：10回 参加者数：延3,008名 個別相談：延190件	各区保健福祉センター 総合支所
4	健康増進普及月間事業	一般市民	・健康づくりに関する講演会 ・市政だより、ホームページ、庁内放送、パネル展、資料配布等による普及啓発 ・商業施設内で関連イベントを実施（泉区）	9月 パネル展、イベント等の実施	講演会：1回 参加者数158名 イベント：6回 （資料配布などでの啓発：2,979名、個別相談：19件）	各区保健福祉センター 総合支所
5	常備菜レシピ作成事業	幼児から高齢者	・昨年度市民協働で作成した、常備菜レシピ集を使用した普及啓発。 ・市民センター共催の健康教室にてレシピの普及啓発。 ・依頼のあった団体に向けて、健康教室を実施（随時） ・HP掲載	市民センター：2回	市民センター共催：2回 23名、当課事業内：2回 32名、健康教育：2回22名 レシピ集配布 969冊 レシピカード配布 5,029枚	青葉区保健福祉センター
6	「我が家の食育の日」レポート展示会	地域住民	・「健康のつどい」にて住民から募った行事食や、家庭料理、手伝い、家庭菜園などの絵や写真にコメントを添えたA4レポート形式の展示	11月	36名の応募 11/1 健康のつどい、 11/7～14 秋保・里センターにて展示	秋保総合支所
7	被災者向け健康情報紙の発行	復興公営住宅居住者等	・栄養・健康情報、レシピなどを掲載した被災者向け健康情報紙を作成し、復興公営住宅等に配布する	年3回発行予定（宮総） 年4回発行予定（若林） 12月発行予定（泉）		宮城総合支所 若林区、太白区、泉区保健福祉センター

【様式1】令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）

具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食で健康サポート店 推進事業	一般飲食店、 給食施設、食 料品等販売店 一般市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養成分表示、バランスメニュー、野菜たっぷりメニュー、塩エコ（塩分控えめ）メニューのいずれかを提供する店舗（食で健康サポート店）の登録を推進</li> <li>登録店舗向けに、健康情報を発信</li> <li>市政だよりにて食で健康サポート店を市民に周知、栄養成分表示等の活用方法などを啓発（泉）</li> <li>庁舎内デジタルサイネージを利用し市民へ周知、登録店の紹介（青葉）</li> </ul>	通年  3月（泉）  通年（青葉）	登録基準について、見直し中  登録店舗数：91店舗	健康福祉局 各区保健福祉セ ンター 総合支所

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子どもの食育教室 （今日もバクバク元 気っ子くらぶ）	①幼児と保護 者 ②児童	・食育講話とクッキングやクイズ等を組み合わせた体験型教室	4回 7・8・9・11月 児童館	①実施回数1回 参加者数 延べ29名 ②実施回数2回 参加者数 48名	宮城野区保健福 祉センター

具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子供の食育講座	乳幼児 小学生	・児童館・児童センターと共催により、調理等の体験型の講座を通して、食事の大切さ、食べる楽しさを学ぶ（泉食生活改善推進委員会連携事業として実施予定）	6月14日、6月19日 1月実施予定	6/14 8組参加 6/19 18名参加	泉区保健福祉セ ンター

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育月間、みやぎ地 区まつりでの紹介	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の食材を使用した料理の紹介</li> <li>レシピ配布</li> </ul>	6月食育月間中の健康教 育、パネル展等にて配布	食育月間中の健康教育に て45部配布	宮城総合支所
2	子育てについてのイ ベントでの情報発信	子育て中の保 護者とその子 ども	・「いずみおやこフェスティバル」における食育の情報発信《①-A-2再掲》 郷土料理、手作りおやつを紹介等	10月30日 会場：未定	今年度参加なし	泉区保健福祉セ ンター

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持つ						
取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます						
具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	通年	161件実施 (各区保健福祉センター、食品監視センター、食肉衛生検査所)	健康福祉局 経済局 各区保健福祉センター
2	食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発	一般市民、食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	食の情報館 4,000部 パンフレット3種 計4,100部作成 随時配布	健康福祉局 各区保健福祉センター 宮城総合支所
3	ホームページによる食品衛生情報の提供	一般市民、食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
4	食品の安全性に関する講演会の開催	一般市民	・食品の安全性に関する講演会の開催	令和2年1月開催予定	令和2年1月27日（予定） テーマ「食肉による食中毒の防止について」	健康福祉局 各区保健福祉センター
5	食品の安全性に関する講習会の実施	一般市民	・市政出前講座（担当テーマ：安全・安心の食生活）における食品衛生情報の提供 ・市民向け食品衛生講習会の実施	申し込みの都度	市政出前講座：10回、169名 市民向け食品衛生講習会：27回、558名	健康福祉局 各区保健福祉センター
6	食品の安全性等に関する相談対応	一般市民	・食品の安全性や表示等に関する電話相談、問い合わせ等への対応	随時対応	随時対応	健康福祉局 各区保健福祉センター
7	せんだい食の安全サポーター制度	せんだい食の安全サポーター	・せんだい食の安全サポーター会議における食品衛生情報の提供	年4回（予定）	2回実施 (第3回：12月実施予定、第4回：3月実施予定)	健康福祉局 各区保健福祉センター
		せんだい食の安全情報アドバイザー	・食肉まつりにおける食品衛生普及啓発活動	令和元年6月15日実施予定	アドバイザー4名参加 内容：食中毒の予防啓発（手洗いチェッカーを用いた手洗い実習）	健康福祉局 各区保健福祉センター

【様式1】令和元年度 食育推進事業実施状況（令和元年11月末現在）

具体的な取り組み ⑤-A-2 食品の安全性確保のための監視指導を行います						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食施設立入検査	特定給食施設 条例に基づく 給食施設	・健康増進法に基づく特定給食施設，条例に基づくその他の給食施設に対する，栄養管理，衛生管理指導	通年	特定給食施設：80施設 その他の給食施設：49施設	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食品衛生監視指導計画の策定と実施	食品等事業者	・食品衛生監視指導計画に基づく食品等営業施設の監視指導の実施	通年	39,639件	健康福祉局 各区保健福祉センター
具体的な取り組み ⑤-A-3 食品関係業者に向けて食品の安全性に関する情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ホームページによる食品衛生情報の提供《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	ファクシミリ等による食品衛生情報の提供	食品等事業者	・ファクシミリ等による食品衛生情報の提供	随時実施	76回，4,122件	健康福祉局 各区保健福祉センター
3	食中毒防止等のパンフレット，ポスター配布による啓発《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成，配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	食の情報館 4,000部 パンフレット3種 計4,100部作成 随時配布	健康福祉局 各区保健福祉センター
具体的な取り組み ⑤-A-4 食品関係業者を対象に食品の安全性に関する講習を行います						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品等事業者に対する衛生講習会の実施	食品等事業者	・食品等事業者等に対する衛生講習会の実施	随時実施	80回，3,336名	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食品等事業経営者セミナーの開催	食品等事業者	・食品等事業経営者セミナーの開催	令和元年11月実施予定	令和元年10月31日開催 115名参加 テーマ「改正食品衛生法への備えと取り組むべきポイント」	健康福祉局 各区保健福祉センター
取り組みの方向性 ⑤-B 食品表示の知識を普及し，食品の選択への活用をすすめます						
具体的な取り組み ⑤-B-1 食品表示の知識を広く発信し，活用法を知る機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品表示の知識普及，活用の推進	一般市民	・健康教育，食育講座および健康づくりや食育に関するイベント等において食品表示について知識の普及啓発の実施	通年	出前講座，宅配講座等での啓発 15回 参加者数456名 イベントでの啓発 2回 参加者数193名	健康福祉局 各区保健福祉センター